

わたしにも できる支援が ここにある

令和7年度犯罪被害者週間

「県民のつどい」プログラム

日時 令和7年 11月15日(土)

13時30分～16時

会場 あきた芸術劇場ミルバス 4階小ホールA



犯罪被害者等支援
シンボルマーク
「ギュっとちゃん」

小ホール(4階)

- | | |
|---------------------------------|-------------|
| ■ あいさつ | 13:30～13:45 |
| ■ 来賓紹介 | 13:45～13:50 |
| ■ 「命の大切さ学習教室」に参加した児童・生徒による手紙の朗読 | 13:50～14:20 |
| ■ 講演 | 14:30～15:30 |

演題：「犯罪被害者になって思うこと」

犯罪被害者遺族 渡邊 たもつ 保 氏

わたなべ
渡邊

たもつ
保 氏

新全国犯罪被害者の会 新あすの会 副代表幹事
犯罪被害者の会 にじの会 代表
被害者が創る条例研究会 世話人

〈プロフィール〉

平成12年10月、帰宅途中だった長女(当時22歳)が、長女の中学校時代の同級生だった男に刺殺された。その6年後には、事件後に心的外傷後ストレス障害(PTSD)で苦しんでいた妻を踏切事故で亡くした。犯罪被害者の家族として自らの体験を各地で講演するほか、犯罪被害者支援条例の研究、施策充実の提言など、犯罪被害者の抱える問題等の解決のため活動を続けている。

- | | |
|----------------------------|-------------|
| ■ 秋田県警察音楽隊によるミニコンサート | 15:35～15:55 |
| ■ 公益社団法人秋田被害者支援センター理事長あいさつ | 15:55～16:00 |

小ホール前ロビー

- | | |
|------------------------|-------------|
| ● 犯罪被害者いのちのパネル展等の展示 | 12:30～16:00 |
| ● 命の大切さ学習教室に参加した児童・生徒が | |
| ● 被害者遺族に宛てた手紙 | |

主催 秋田県・秋田県人権啓発活動ネットワーク協議会

共催 秋田県警察・(公社)秋田被害者支援センター・秋田県被害者支援連絡協議会

後援 秋田県教育委員会・秋田県市長会・秋田県町村会・(公社)秋田県防犯協会連合会・秋田県倫理法人会

秋田弁護士会・秋田県少年保護育成委員連絡協議会・(公財)暴力追放運動推進センター・(一社)秋田県交通安全協会

【犯罪被害者週間 11月25日～12月1日】

平成17年12月、内閣府が策定した「犯罪被害者等基本計画」において、国民の理解の増進を図るために「犯罪被害者週間」が設定されました。

犯罪被害者等が社会において、平穏な生活を送るために、わたしたち一人ひとりの思いやりが必要です。

「命の大切さ学習教室」に参加した児童・生徒による手紙の朗読

「命の大切さ学習教室」について

「命の大切さ学習教室」は、犯罪被害によって子どもを亡くされた御遺族から、御自身の被害体験を児童・生徒に向けて語っていただく講演会形式の教室です。

将来を担う子ども達に、被害者等が受けた様々な痛みや大切な家族を亡くした悲しみ、命の大切さ、犯罪の起きにくい社会を求める犯罪被害者等の思いなどを理解してもらうとともに、犯罪を犯してはならないという規範意識の向上を図ることにより、犯罪被害のない安全で安心な地域社会の形成を目指しています。

学校や家庭から地域社会全体へと犯罪被害者等を支える気運を醸成するため、命の大切さ学習教室に参加した児童・生徒に被害者等の生の声を聴いて感じたことを手紙に綴ってもらっています。

●手紙を朗読する児童・生徒さん

横手市立十文字小学校	4年 小松谷 梨太郎 (こまつや りょうたろう) さん
湯沢市立稻川中学校	2年 後 藤 瑞 瑞 (ごとう みずき) さん
大館市立成章中学校	3年 田 村 舞 (たむら まい) さん
羽後町立羽後中学校	3年 佐 藤 もなみ (さとう もなみ) さん
秋田県立本荘高等学校	1年 鈴 木 幸 芽 (すずき こうめ) さん



展示ブース

小ホールA前ロビー（4階）において、犯罪被害者支援に係わる展示を行っています。

○「犯罪被害者いのちのパネル展」

犯罪被害者いのちのパネル展は、犯罪被害に遭われた方の「声」や「思い」を知っていただくため、交通事故や殺人事件などにより大切な御家族を亡くされた方の協力を得て作成したものです。被害に遭われた方の写真とともに、御遺族の思いが綴られています。



○「命の大切さ学習教室」に参加した児童・生徒が犯罪被害者遺族に宛てた手紙

「命の大切さ学習教室」に参加した児童・生徒が、講演した犯罪被害者遺族に宛てて書いた手紙です。朗読に参加した児童・生徒の他にも、遺族への思いや犯罪被害者の支援について感じたことが綴られています。



※被害者団体・自助グループ等の取組を紹介するパネル展、「犯罪被害者等の手記」などの配布も行っています。

金魚のお守り～交通事故のない秋田を願って～

金魚のお守りは、交通事故で亡くなった五城目町の石井素（もと）さんのお母さんが、「交通事故のない・命を大切にする社会」を願って手作りしているものです。会場では、県内の犯罪被害者の御遺族や犯罪被害者支援大学生ボランティア等とともに作成したお守りを配布しています。